

歯科研究会

デンチャースペース義歯の実際

～顎堤の瘦せた高齢者に安定した義歯を～



9月26日(土)佐賀市アバンセにて、歯科研究会「デンチャースペース義歯の実際～顎堤の瘦せた高齢者に安定した義歯を～」を開催いたしました。講師に加藤武彦先生（神奈川県横浜市開業）をお招きし、43医療機関より64名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。



加藤 武彦 先生

神奈川県横浜市で開業され、30年余り前から歯科在宅往診を続けておられる加藤武彦先生をお招きし『デンチャースペース義歯の実際』という議題でご講演を賜りました。

私個人としては、おととしの6月にも先生のご講演を拝聴させていただきましたが、その際にはつぶつぶをつかれて壇上に立ておられた先生も、今回

はつえはお使いにならず、変わらずご健在で、明るく元気なお声でご講演いただきました。

8月20運動の推進に伴い齶歯と重篤な歯周病は減少してきたものの、在宅診療の現場では義歯に対する訴えはかなりのパーセンテージを占めており、会場にも多くの歯科医師、技工士、歯科衛生士の方々が詰めかけ、それにより咬合圧にも耐えかつ発音・審美もすこぶる良い義歯ができる。

歯を解剖学的歯槽頂から外して排列すべきであり、

全国保険医団体連合会が、平成4年に「イレバ」の語呂に合わせて命名した「入れ歯の日・イレバデー」の10月8日(木)に、第2回「歯の供養祭」に参加しました。永年にわたりて、患者さんの身体

の一部として働き続け、そして役割を全うした入れ歯や差し歯、抜去歯牙に感謝の意を込めて供養

寺ご住職による読経、参

以下、参加者からの報告です。

10月8日(木)潮音寺(佐賀市神園2丁目)にて、第2回「歯の供養祭」を開催し、16名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。

佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
✉ hoken-i@star.saganet.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

協会会員数
医科 641人
歯科 337人
合計 978人
(9月30日現在)

主な記事

- 保団連第33回病院・有床診療所セミナー
- わたしの主張「地域包括ケアシステム」
- 保団連全国会長・理事長会議
- 唐津地区医師会員懇談会
- 経営税務「今年の年末調整の注意点は?」
- 6面

歯の供養祭



集められた入れ歯など



列者の焼香が行われました。ご住職は、「生きている者に対する感謝の意を表せる。しかし、亡くなつた故人やご先祖、また、命のない物に対する感謝を表す最も良い方法が供養」また、「私たちは、多くの見えないおかげの力によって生かされている。ご先祖様の見えないおかげの力、私たちに関わる全ての人たちの見えないおかげの力、そして、入れ歯をはじめとした道具の見えないおかげの力に感謝をしながら生きていなくて必要がある」と話されました。感謝の大切さを痛感し、心が洗われる氣分になりました。

当日の模様は、NHK佐賀放送局、毎日新聞が取材に訪れており、当夕方のテレビニュースで紹介されました。新井副会長は、取材に対して、「口は、全身の健康をつかさどっている。この供養祭を、県民の健康維持に役立てるきっかけにしていただきたい」と答えられました。日々の診療

(多久市 梅津 健太郎)
(事務局)

供養した入れ歯などは貴金属リサイクルを経て、ユニセフ、国境なき医師団、佐賀県難病支援ネットワークの3団体に全額寄付いたします。

曙

先日、わが家の上棟式と餅まきを行いました。
私が小学生ぐら

いの頃は学校帰りによく出くわしていた餅まきですが、最近はしないことが多いそうです。時代の流れで少しひかれてみたところ、子どもたちが保育園の友達に宣伝して回っていたらしく、引くに引けなくなつたのです。ですが、当日は、近所の方、子どもたち、友人、スタッフやその家族など、予想以上の人出の中、出来たての屋根のてっぺんに立つて、とても清々しい気持ちで過ごすことができました。その時屋根の上で感じたことは、「ここに集まつてくれるような人たちに対して、家族がこの土地で幸せに暮らしていくためにも自分がそこな決意でした。(あとはローランのことが少し...)」

▼私もあまり堅苦しい儀式にこだわる方ではありませんが、最近は簡単に結婚や離婚を繰り返したり、学校やお店などで家族の面子も考えずにモンスター化する親がいたりと、人の絆が抑制力として働いていないことが多いように感じます。

子どもの頃に道徳の時間があるように、大人になつても人生の節目には公の場で大切な何かを誓う、そつやつてあって自分で律するシーンは必要だと思った一日でした。

その点については、些か消化不良の面も否めませんが、ビデオで拝見した症例での患者さんの喜ぶお顔や、周りのご家族の笑顔を見ると、加藤先生の長年お受けにならぬ、その点については、また咽頭ケアの症例では、咽頭部に痰と一緒に絡まって停滞している薬剤が患者さんの口から取り出され、これではスムーズな呼吸もできず、服薬の効果もなく、口腔ケアにとどまらずその先の咽頭部にまでケアの手を差し伸べる必要性を痛感しました。貴重な土曜日の午後でしたが、それ以上に貴重な講演を拝聴させていただきました！

(在たくSS)